

見て、聞いて、感じた! 市場の裏側



迷路のような市場見学



上: 競り場で「競り」の話を聞きました

11月29日にいきいき健康サークル主催の『大阪市中央卸売市場』に社会見学へ行きました。今福鶴見駅に集合し通勤ラッシュの電車に乗り込み、移動も楽しみつつ向かいました。

見学には「大阪市中央卸売市場本場市場協会」の方が付き添い、競り場や仲卸のお店などを巡ります。この市場で取り扱が多いのは、野菜・果物・水産ですが、その他にも乾物や漬物など、さまざまな食材の売り場もありました。食材以外に、飲食店などで使う飾りや道具も買うことができます。つまり、こ



上: まぐろの量り売り

日本の農業従事者の平均年齢は68・7歳農林水産省2023年今の子どもたちが大人になった時、果たして今のように野菜や果物が手軽に買うことができるとは、この先から日

た。

こにあれば食に関するあらゆるものが揃うのです。見学を終え管理棟でビデオを視聴。食の安全や安定した供給、適正な価格に大きな役割を果たしていることがわかりました。市場の広さは甲子園球場の約8倍あり、迷路のようでした。



上: 削りたてカツオ節

きずな編集委員

「きずな」は組合員のみなさんとコープおおさか病院をつなぐ機関紙です。

2019年7月に創刊し、第60号を迎えました。

医療福祉生活協同組合おおさかの、コープおおさか病院地区運営委員会が発行しています。

機関紙編集委員には、病院副事務長、組合員活動部の職員3名、地区運営委員、組合員の計6名の体制です。他に仕事を抱えながらの編集活動です。病院からのお知らせ、組合員さんの取り組み紹介、健康や治療に関する耳より情報、暮らしや医療にかかわる課題など、話題は多方面。

あの記事がよかった、こんな記事を載せてほしい、こんな学習会やサークルあったらいいな…など、どしどしご意見ご希望をお寄せください。

「きずな」は、病院と組合員さん方をつなぐ「血液」で、なくてはならない物です。生協から組合員さんへ、組合員さんから生協に想いを伝え合うツールです。これからも編集委員は大切な血液を届けれるよう、しなやかに、かつ丈夫な血管であり続けるように頑張ります。



ご意見は左 QR コードからお願いします。



市場見学: 魚屋

本の食料は大変なことになる」とおっしゃっていました。私たちに出来ることは、まずは関心を持つこと。国産の物を食べることでないでしょうか。



市場見学: 乾物屋

コープおおさか病院通信 第10回

回復期リハビリテーション病棟
コープおおさか病院 3階病棟

11月28日、3階(※回復期リハビリテーション)病棟で「元気まつり」(運動会)を開催しました。患者様ご自分でアレンジをして涙ながらの選手宣誓、しっかりメイクで、はりきって参加する方など普段と違う患者様を拝見することができました。

面会にこられたご家族にも日頃のリハビリの成果を見ていただくいい機会になりました。食養科お手製のカルピスゼリー、プリン、コーヒーゼリーは大好評でした。12月はクリスマス会を予定しています。※自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるためのリハビリテーションを中心に行う病棟です。



開会式: 左 藤本医師



看護師サンタ クリスマス



医療福祉生活協同組合おおさか
コープおおさか病院
 無料低額診療実施病院
 差額ベッド料不要の安心できる病院です
 〒538-0053
 大阪市鶴見区鶴見 3-6-22
 ☎0570-06-1100
 URL: <https://cooposaka-hp.com/>



コープおおさか
 デイサービス **受付中**
 見学・無料体験・相談
 お気軽にお電話ください
 体験も無料送迎あります。
06-6913-8201